

令和2年6月22日

教職員各位

徳島大学危機対策本部長
徳島大学長
野地 澄晴

令和2年度前期授業の実施等について（6月22日更新）

令和2年5月27日及び6月5日に更新しました通知内容を、下記のとおり更新します。BCPは、徳島県の動向（3週間ごとに見直し）を踏まえ、「レベル1」を継続します。学生、教職員の皆様の健康と安全を確保するためには、感染防止の取組が不可欠です。皆様のご理解とご協力をお願いいたします

※下記のうち下線部分は、令和2年5月27日及び6月5日付け通知からの変更箇所

なお、学生及び保護者に対しては、本学ホームページと教務システムにより、別紙のとおり通知することとしております。

今後も状況を確認しながら対応を判断し、変更する場合は改めて通知します。

記

◆対象期間 「BCPレベル0」となるまでの間

1. 全ての学生について、特定警戒都道府県であった地域への移動の自粛要請を解除するとともに、当該地域へ移動する場合の各学部学務担当係への連絡を不要とする。ただし、県内においては「第1波」の感染が抑えられており、「第2波」での感染拡大を特に警戒する必要があるため、移動先の地域の状況を十分に確認したうえで移動の可否を各自判断し、移動する場合には必要な感染防止対策を講じること。

ただし、診療現場で教育を受ける学生は、当該診療施設の対応に従うこととする。

2. 「BCPレベル0」となるまでの間は、遠隔授業等を推奨し、対面授業は、学部等の判断に基づき、各学部等の状況や特性に応じて感染防止対策を徹底した上で実施する。

※「遠隔授業等」とは、Web環境を活用した Teams、Zoom、ライブ配信システム、manaba 等による教材配付、課題提出等、対面によらない全ての授業形態を指す。

3. 体調確認期間の確保や感染等の理由により、遠隔授業等や対面授業に出席できない学生については、欠席扱いとはせず、欠席回数分の補講や課題提出、録画した授業を視聴させる等の代替措置を行い、学生の単位取得に影響が出ないようにすること。

4. 自宅等から遠隔授業等を実施する場合の学生との連絡方法として、教務WEBシステムの学外利用機能を活用してください。
5. 必要に応じて、教員（非常勤講師を含む。）が大学へ出勤せず、遠隔授業等により業務を行うことを許可することとし、労働時間、休暇等に関する規則第6条に定める事業場外勤務として取り扱います。（「事業場外勤務届」の提出は不要です。）
6. その他、各学部等の状況や特性に応じて対応してください。

（本件に関する連絡先）

学務部教育支援課教務・情報係（担当：伏見・安友）

TEL 088-656-7095・7683（内線(常三島：82)7095・7150)

E-Mail kygakujk@tokushima-u.ac.jp

令和2年6月22日

学生及び保護者の皆様へ

徳島大学長
野地 澄 晴

令和2年度の授業実施にあたって（6月22日更新）

令和2年5月27日に更新しました通知内容を、下記のとおり更新します。

BCPは、徳島県の動向（3週間ごとに見直し）を踏まえ、「レベル1」を継続します。学生及び保護者の皆様の健康と安全を確保するためには、感染防止の取組が必要不可欠と存じますので、皆様のご理解とご協力をいただきますよう、よろしくお願いたします。

今後も状況を確認しながら対応を判断し、変更する場合は改めて通知します。

記

◆対象期間 「BCP レベル0」となるまでの間

1. 授業等について

(1) 「BCP レベル0」となるまでの間は、遠隔授業等を推奨し、対面授業は、各学部等の状況や特性に応じて十分な感染防止対策を徹底した上で実施しますので、教養教育院、各学部及び教育部・研究科の指示に従ってください。

※「遠隔授業等」とは、Web環境を活用した Teams、Zoom、ライブ配信システム、manaba 等による教材配付、課題提出等、対面によらない全ての授業形態を指す。

(2) ネット環境が十分でない学生に向けて、Web環境と感染防止対策が整った教室を確保しています。詳しくは HP 掲載「感染防止対策済の無線 LAN・PC環境エリア」をご覧ください。

2. 授業実施に当たっての注意事項

(1) 屋内や会話をする時はマスクを着用してください。

(2) 3密（密閉・密集・密接）が回避できないような空間に集団で集まることを避けてください。

(3) 授業終了後は、学内に留まらず帰宅し、自宅で事前・事後学修を行ってください。

(4) 日頃から十分な栄養、睡眠を確保し、毎日の体温測定など、適切な健康管理を行ってください。

(5) 手指の消毒や咳エチケットの励行により、感染予防を徹底してください。

- (6) 大学から発信される情報に常に注意を払い、適切に対応してください。
- (7) 特定警戒都道府県であった地域への移動の自粛を解除するとともに、当該地域へ移動する場合の各学部学務担当係への連絡を不要とします。ただし、県内においては「第1波」の感染が抑えられており、「第2波」での感染拡大を特に警戒する必要があるため、移動先の地域の状況を十分に確認したうえで移動の可否を各自判断し、移動する場合には必要な感染防止対策を講じてください。
ただし、診療現場で教育を受ける学生は、当該診療施設の対応に従ってください。
- (8) 「BCP レベル0」となるまでの間、体調不良等がある場合は、必ず各学部学務担当係へ連絡するとともに、「新型コロナウイルスに関する措置（学生版）」に従って対応してください。
- (9) 体調確認期間の確保や感染等の理由により、遠隔授業等や対面授業に出席できない学生については欠席扱いとはせず、欠席回数分の補講や課題提出、録画した授業を視聴させる等の代替措置を行い、学生の単位取得に影響が出ないようにしますので、各学部学務担当係へ連絡してください。
- (10) 授業等に関する大学からの通知は原則「学生用教務システム」からとしますので、教務システム上の学籍情報から、電話番号、携帯番号、メールアドレスを入力又は確認・更新するようお願いします。

以上

【各部局問合せ先】

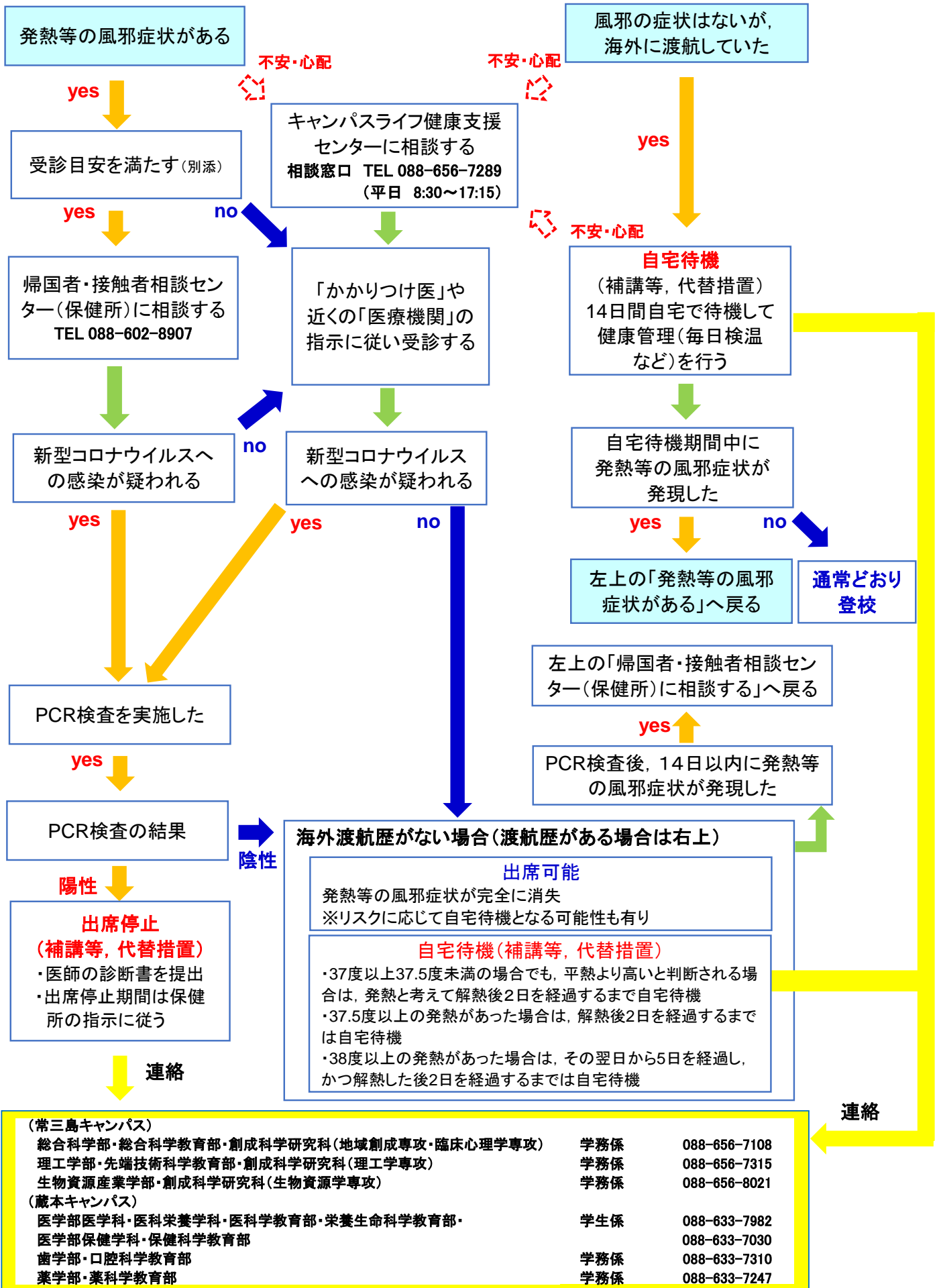
(常三島キャンパス)

総合科学部・総合科学教育部・創成科学研究科(地域創成専攻・臨床心理学専攻)	学務係	088-656-7108
理工学部・先端技術科学教育部・創成科学研究科(理工学専攻)	学務係	088-656-7315
生物資源産業学部・創成科学研究科(生物資源学専攻)	学務係	088-656-8021

(蔵本キャンパス)

医学部医学科・医科栄養学科・医科学教育部・栄養生命科学教育部	学生係	088-633-7982
医学部保健学科・保健科学教育部		088-633-7030
歯学部・口腔科学教育部	学務係	088-633-7310
薬学部・薬科学教育部	学務係	088-633-7247

新型コロナウイルスに関する措置（学生用）



(常三島キャンパス)
 総合科学部・総合科学教育部・創成科学研究科(地域創成専攻・臨床心理学専攻)
 理工学部・先端技術科学教育部・創成科学研究科(理工学専攻)
 生物資源産業学部・創成科学研究科(生物資源学専攻)
(蔵本キャンパス)
 医学部医学科・医科栄養学科・医科学教育部・栄養生命科学教育部・
 医学部保健学科・保健科学教育部
 歯学部・口腔科学教育部
 薬学部・薬科学教育部

学務係 088-656-7108
 学務係 088-656-7315
 学務係 088-656-8021
 学生係 088-633-7982
 088-633-7030
 学務係 088-633-7310
 学務係 088-633-7247

新型コロナウイルス感染症が疑われる場合の対応

～新型コロナウイルス感染症についての相談、検査や治療の流れ～

少なくとも、以下のいずれかに該当する場合はすぐに御相談ください。
(これらに該当しなくても相談可)

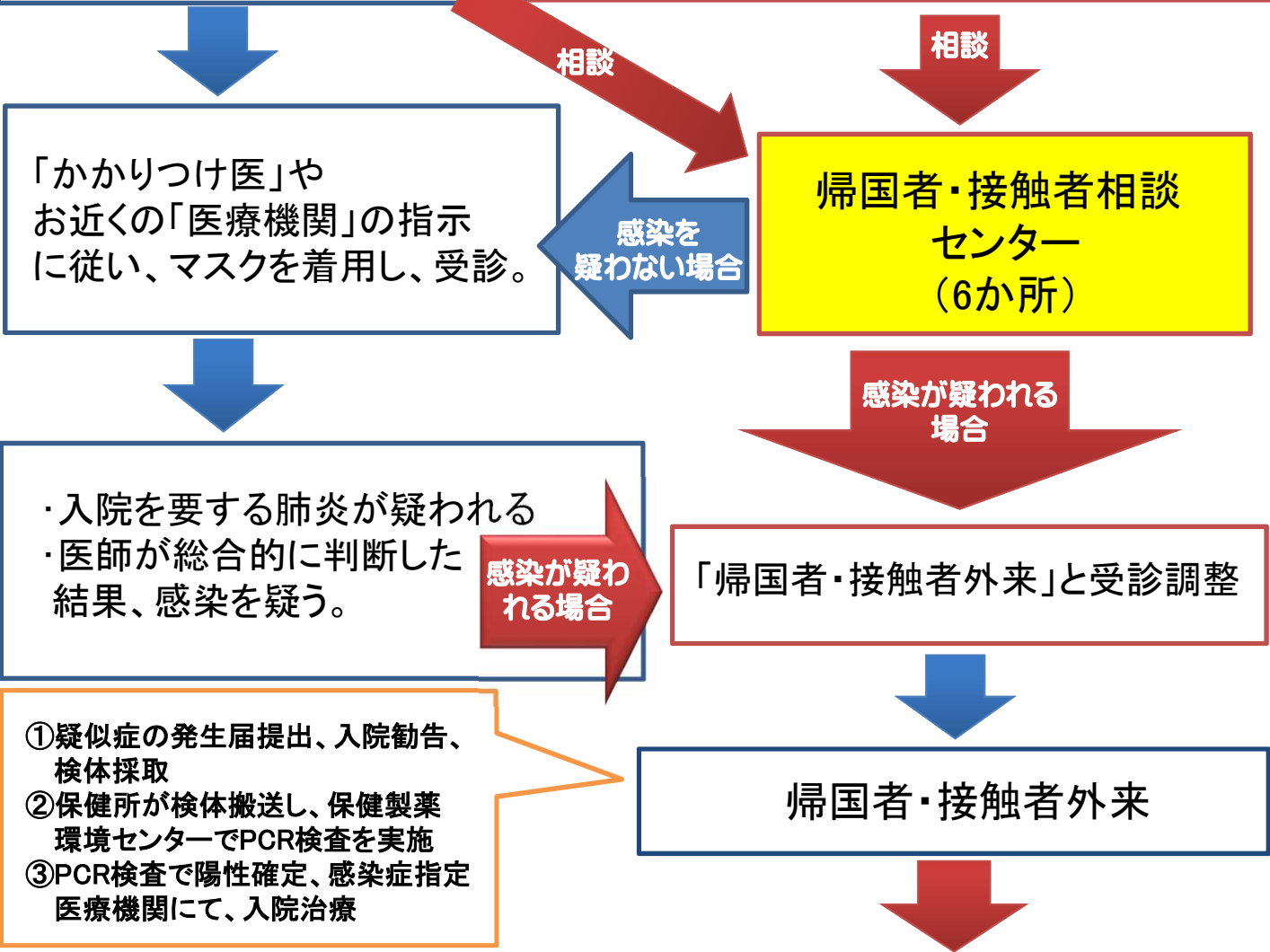
- ・息苦しさ、強いだるさ、高熱等の強い症状のいずれかがある。
- ・重症化しやすい方(高齢者、基礎疾患のある方等)で、比較的軽い風邪症状がある。
- ・上記以外で、比較的軽い風邪症状が続く。(症状が4日以上続く場合は必ず相談)

※妊婦の方については、念のため、重症化しやすい方と同様に、早めに相談

【検査対象者】

- ①発熱(37.5度以上)または呼吸器症状 かつ 新型コロナウイルス感染症であることが確定していた者と濃厚接触がある。
- ②発熱(37.5度以上)かつ呼吸器症状 かつ 発症二週間以内に、流行地域に渡航又は居住していた又は流行地域に渡航又は居住していた者と濃厚接触歴がある。
- ③発熱(37.5度以上)かつ呼吸器症状 かつ 入院を要する肺炎が疑われる。
- ④医師が総合的に判断した結果、新型コロナウイルス感染症を疑う。

※流行地域については、厚生労働省のホームページで御確認ください。



PCR検査で「陽性反応」の結果が出た場合、入院治療
感染症指定医療機関の感染症病床、結核病床、一般病床に加え、
一般病院における一般病床も含めて「11病院・130床」を確保